

小野谷機工の大型インパクト吊り機

「バリアスツールハンガー」登場

小野谷機工はこのほど、重量物である大型インパクトレンチ作業の負担を軽減、軽劣化する天井吊り下げ装置「バリアスツールハンガー(VTH)」シリーズを発売開始した。作業環境に応じて豊富なレイアウトを用意しているほか、オプションも多数用意して様々なニーズに対応する。同社機器商品開発グループの三田村廣大さんにお話を聞いた。(木本)

大型インパクトレンチは重さが12〜15kgにもなる重量物で、作業は大変きついものである。床面を移動させるタイプのインパクトレンチ吊り機も販売されており、同社でもレックカーシリーズとして商品展開している。

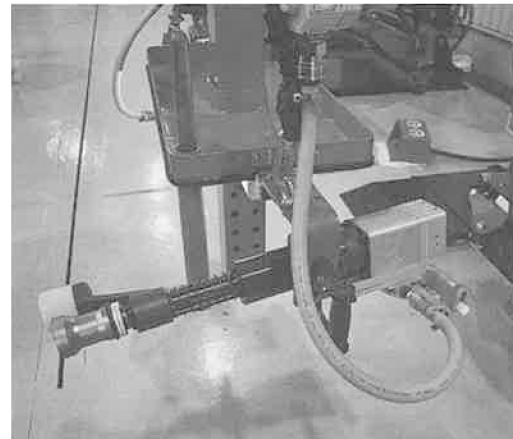
新商品の「バリアスツールハンガー」シリーズは、作業場の天井にレールを設置し、インパクトレンチを空中から吊るすタイプの吊り下げ装置となっている。天井吊り下げタイプの

の長所は、作業者がほぼインパクトレンチの重さを感じずに作業することが可能なこと



「バリアスツールハンガー」と開発者の三田村廣大さん

エアホースなどを空中から吊るすことで足元でホースを踏んでしまったり、ホースを地面に引きずることで痛めたりしないこと。作業者の動線が自由になることも長所だと言える。同社でも「ユニバーサルハンガーシリーズ」を販売している。開発者の三田村廣大さんは「基本的に新築の店舗さんがメインの商品になります。建



大型インパクトレンチ作業が快適に

うなものが入り、エアのホースとケーブルが収納されるタイプ。スパイラル型と違いホースが露出していないため、車両に引っかかることでホースやケーブルが切れたり、配線

が付いており、周囲を明るく照らすことで作業がしやすくなる。また、インパクトレンチ上方にストップバルブ付きのレギュレーターを設置した。『これまでのユニバーサルハンガーでは、供給されたエアが直接インパクトレンチに入っていました。機械から取り外して別の場所



レギュレーターとストップバルブ

子の重さをほとんど感じずにスムーズな移動を可能にする。また、タイヤ横で作業者がしがんだ状態になるときにインパクトレンチが上下動するが、ここでもスプリングバランスの働きで重量感を解消する。

元はストップバルブとレギュレーターを付けましたので、バルブを閉じていただいてエアを抜けば簡単に外し

大型インパクトも楽々

新機能でさらに作業性UP

が絡まるなどのトラブルを未然に回避する安全設計となっている。また、01、02はインパクトレンチを一本吊るタイプと2本吊るタイプという区分に。工具等の収納ができ

明るく照らすことで作業がしやすくなる。便利な機能もある。インパクトレンチを引き出す際に威力を発揮するのがユニバーサルアーム。伸縮自在の動きでインパクトレン

制する。また、インパクトレンチ上方にストップバルブ付きのレギュレーターを設置した。『これまでのユニバーサルハンガーでは、供給されたエアが直接インパクトレンチに入っていました。機械から取り外して別の場所

てもらうことができま。加えて、インパクトレンチはメーカーによって指定の圧力が違



ストレージボックスの下に明るい照明

填が行える。作業環境に応じて様々なレイアウトで設置できるのも特長で、同社ではユーザーのリクエストに対応していく方針。

「バリアスツールハンガーシリーズ」。きついインパクトレンチ作業の省力化と、作業環境の改善に貢献する注目の新商品が登場した。商品問い合わせは同社本社(0778-22-2124)または各営業所まで。



操作性良好のアーム